

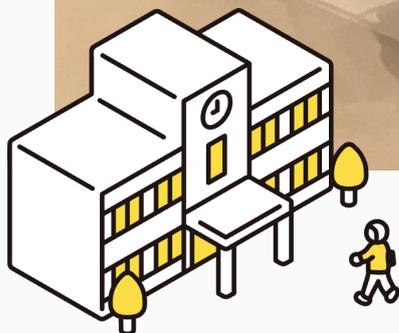
追分の学校を 考える会

Newsletters

2025/09/06



わたしたちのがっこう
よろしくたのむわよ!



9/6(土) ついにキックオフ! 住民説明会と講演会を開催

胆振東部地震から7年目を迎えた9月6日(土)、追分公民館にて「追分の学校を考える会 住民説明会」が開催されました。参加者は大人56名、中学生3名、小学生2名、未就学児7名に、スタッフを加えると合計80名が参加しました。

今回のニュースレターでは、住民説明会の内容(抜粋)と東京学芸大学教授金子嘉宏先生による講演についてレポートします。

オープニング

はじめに及川秀一郎町長から「震災から7年、町は復興と挑戦を続けています。追分でも地域が一体となって、未来の学校を一緒につくっていきましょう」と温かいメッセージがありました。

次に、追分小中学校学校運営協議会の箱崎英輔会長から、「地域と学校が手を取り合う場として、この会を大切に育てていきたい」との呼びかけがあり、会場全体が前向きな雰囲気になりました。



安平町長
及川 秀一郎



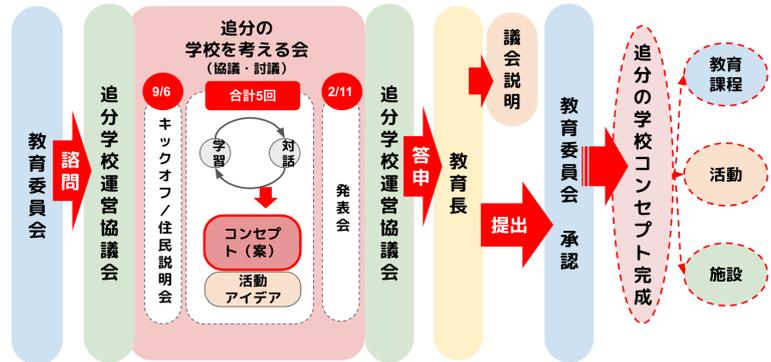
学校運営協議会
箱崎 英輔 会長

行政説明 「そもそも『追分の学校を考える会』って何？

行政説明として、井内聖教育長より、「追分の学校を考える会」について説明がありました。

『追分の学校を考える会』は、**町民みんなで未来の学校をゼロから考える場**です。建物のことだけでなく、「**子どもにどんな経験をしてほしいか**」「**どんな学びの場がいいか**」という**コンセプトづくり**から始めます。教育委員会が一方向的に決めるのではなく、**町民の皆様**の声を反映して一緒に学校をつくっていきます」

追分の学校づくりのコンセプト策定の流れ



決まっていること：追分小学校は老朽化を考慮し、2032年の追分中予防改修にあわせて建て替えを検討。
検討していること：追分中との一体校や義務教育学校の可能性、地域全体を教育文化エリアとして考えること。

質疑応答

行政説明に対しての質疑に井内教育長が答えました

Q 校区は必要ですか？

A 皆様のご意見を伺いながら見直していくことは大切だと思います。ただし、来年度からすぐ変わる、ということではないのでご理解ください。

Q 薪ストーブはいらないです！

A どうしていくかは、これからの皆さんの議論の中で一緒に考えて決めていただければと思います。

Q 早来学園を作った経験を活かしますか？

A 他の事例から学べる部分はありますが、追分の学校は追分の学校。全く同じ形を目指すのではなく、経験を参考にしながら追分らしい学校をつくっていきたくて考えています。

Q 追分高校はどうなるの？

A 高校は道の管轄になりますので、町として「こうします！」と決めるのは難しい部分もあります。ただ、追分高校とは日頃から連携できていますので、一緒に取り組むことでさらに魅力的になっていけると感じています。

Q 若い人の感覚について知りたい

A 今日の会には0歳のお子さんから中学生まで参加してくれています。もし中学生の皆さんが「今の学校生活はこんな感じだよ」と話してくれたら、大人も「今はそうなっているんだ」とよく分かるのではないかと思います。

Q 校舎の場所はどこになるの？

A 場所についてはまだ決まっていません。ですので「ここがいいのでは」というご意見をぜひいただきたいと思います。ただし、どこでも建てられるわけではなく、土地の条件などもあるため、候補地はある程度絞られていくことになります。

Q 学校を建てる目標は人を増やすこと？

A 人を増やすこと自体が目的ではありません。あくまで「良い学校を作ること」が一番の目標です。早来学園の1年生は46人と当初の想定を超える人数になりましたが、それは「良い学校を作ろう」と取り組んだ結果。大切なのは人数の多さではなく子どもたちが安心して学べる環境を整えることだと考えています。



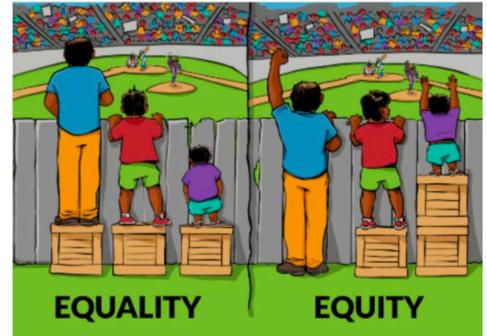
講演「未来の学びの場 みんなで創ろう。 ～学校をワクワクする場所に～」

東京学芸大学 教育インキュベーションセンター長 金子嘉宏 教授

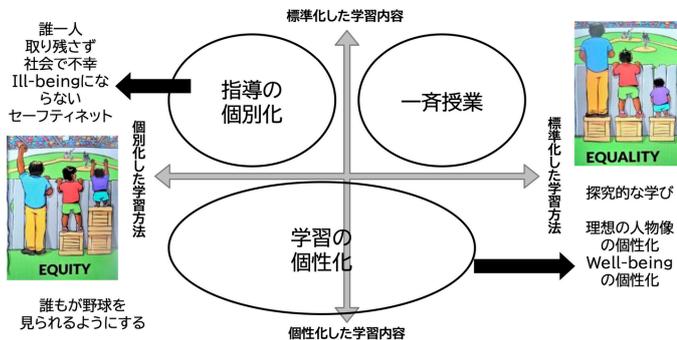
社会心理学や教育支援協働学を専門とし、STEAM教育や「未来の学校みんなで創ろう。PROJECT」など、全国で新しい学びを実践されています。「遊びと学び」をキーワードに、公教育の可能性を広げる活動を続けている先生です。

1. 学校ってなんだ？

学校は、勉強をするだけの場所ではありません。友達や先生と出会い、人との関わり方や社会のルールを学ぶ「コミュニティ」としての役割があります。もともと学校は、家庭や親の仕事に左右されず、誰もが公平に学び、自分の力で社会に羽ばたけるようにつくられました。だからこそ、これからの学校づくりを考えるときには、建物や制度だけでなく、「子どもが安心して成長できる居場所」としてのあり方をみんなで一緒に描くことが大切です。



2. 2種類の個別最適な授業がある



金子先生は、「子どもに合った学び方には2つの形がある」と話しました。ひとつは、同じ学習内容でも子どもの理解度や得意・不得意に合わせて教え方を工夫する「指導の個別化」。もうひとつは、子ども自身の興味や関心を出発点に学びを深める「学習の個性化」です。どちらも大切であり、先生の工夫だけでなく地域の力も必要になります。全員が同じ答えを目指すのではなく、一人ひとりに合った学びを認め合うことで、子どもたちは安心して挑戦できるのです。

3. 学習の個性化には、地域の伴走者が必要

- こんな大人に気をつけろ！**
- 話を聞いてくれず、自分ばかりしゃべる
 - 子ども扱いしてくる
 - 「できない理由」ばかり言ってきて、「どうやったらできるか」の相談にのってくれない
 - 失敗しているのにきれいにまとめさせようとする
 - 失敗しろって言っているのに、すごい成果を出させようとする

子どもが自分の「好き」や「やってみたい」を深めていく学びには、先生だけでなく地域の大人たちの支えが欠かせません。例えば、子どもが夢中でカブトムシを観察しているとき、「勉強しなさい」ではなく「どうしたらもっと調べられるかな？」と一緒に考えてくれる大人の存在が大切です。知らないことを教えるよりも、子どもの意欲を支え、挑戦を応援する「伴走者」として地域の人が関わることで、学びはぐんと広がります。学校と地域と一緒に子どもの未来を育てていくのです。

つい正解を先に教えてしまう大人や、「そんなことやめなさい」と挑戦の芽を摘んでしまう大人。子どもの学びや好奇心を止めてしまう存在には気をつけたいですね。

4. 大人も遊ぶ学校づくり

学校には体育館、プール、図工室など「遊びの宝庫」がそろっています。子どもだけでなく、大人も一緒に遊び心を持って関わることで、学校はもっと魅力的でワクワクする場所になります。失敗を恐れずに挑戦できる安心感を、大人自身が率先してつくり出すこと。それが子どもたちの挑戦を支え、学校を「やってみたい！」があふれる場に変えていきます。

放課後の学び部活動



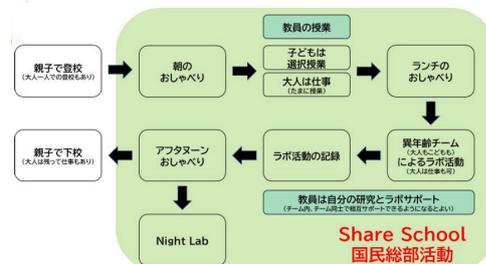
子どもの学びを最大限優先しながら地域の大人も一緒に学ぶ「開かれた学校」「大人も部活動！」

大人も部活動

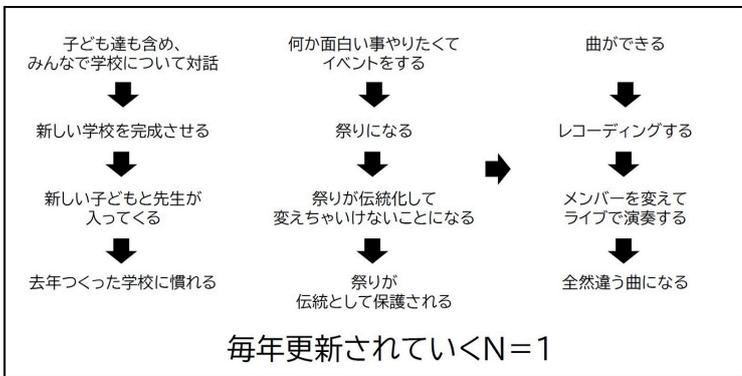
もう少し大人も遊びませんか？

2.5%ルール

もう少しこどもの学びにつきあいませんか？



5. 学校は“完成しない”場所



金子先生は「学校は完成品ではなく、常に更新され続ける場」だと語りました。子どもたちの世代や社会が変われば、求められる学びも変わります。だからこそ、地域と学校は歩みを止めず、その時々の子もたちに合った新しい学びを生み出し続ける必要があります。学校づくりはゴールではなく、未来に向けて常に進化し続けるプロセスなのです。

6. 未来の学校はみんなで創る

これからの学校は、先生や子どもだけではなく、地域の大人たちと共につくり上げるものです。学びの場は教室の中にとどまらず、地域活動や人とのつながりの中にも広がっています。「こんな学校がいいな」「こんな学びをしてほしい」という一人ひとりの思いが集まることで、追分の未来の学校は形づくられていきます。未来の学校づくりは、みんなで歩む共同の物語なのです。

大人も好きに、挑む。



学校は「答え」を探す場所でしょうか？
「正解」を教える場所でしょうか？
私たちはこれからの学校が、
「答え」より「好き」を見つけれられる場所であってほしいと考えています。
広い世界を自分の足で歩き、自分の目で見つめ、自分だけの「好き」を見つける。
そんな一番星を見つけた子どもたちの、色とりどりの「好き」で溢れる教室があったら、
明日の学校がどんなにワクワクするでしょう。
夢中で「好き」に挑むその熱量は、きつとどんなルールや知識をも超えて、
社会を大きく動かす原動力になると私たちは信じています。
「好き」に挑む人生、明日の学校がその第一歩になりますように。

教育は
どんな「好き」を
生み出せるだろうか？

成果主導型社会から「好き」駆動型生活へ！

クロージング



安平町教育長 井内 聖

井内教育長から「今日が準備運動。本番の議論はこれからです」と言葉がありました。また、参加してくれた中学生へ感謝を伝え、金子先生の講演内容を引用し「頼れる人がいると、人はワクワク挑戦できるという話がありました。みなさんもぜひ子どもたちの“頼れる人”になってください」と呼びかけました。



意見交換ワークショップ ワークショップでできた意見を抜粋して紹介します

ワークショップ①現代の学校の持つ課題に対して、地域にいる自分達には何ができるか？

- ・余白を生み出す
- ・成果主義から「好き主導」へ
- ・主体的な学に対して否定しない
- ・先生のメンタルブロックをどう崩すか
- ・先生が理想を語れる環境を！
- ・先生の多忙を受け取りたいと伝える
- ・午後2時で終業する日を経営者が作る。週2で。
- ・空き家を秘密基地に
- ・自由に遊べる地域づくり
- ・家庭の力を上げる
- ・環境美化、草取り、花植えを手伝える
- ・学校から地域にしてほしいことを言ってほしい
- ・助けてと言え、助けてくれる人がいる関係性
- ・コーディネーター必要！

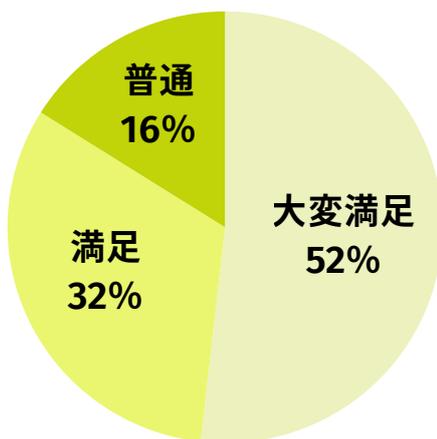
ワークショップ②どうしたら面白い学校をみんなで創り続けられるだろうか？

- ・学び方を学ぶ
- ・日常に探究、余白、選択を！
- ・学年に縛られない
- ・子どものやりたいを取り入れる
- ・年に2回宿泊研修ができる
- ・自分で決めるしくみ
- ・「何もない」からつくる
- ・一つの学校に閉じる必要はないのでは？
- ・他校と交流したい
- ・芸術鑑賞に好きな芸人を呼びたい
- ・チャレンジできるスペース
- ・変わることを恐れない
- ・「観」の共有。面白いって？ 遊ぶって何？
- ・場づくり+問い+面白いがる → 対話+仲間+発見 → シェアスクール → 創り続ける

アンケート結果

回答数：56人

住民説明会の満足度

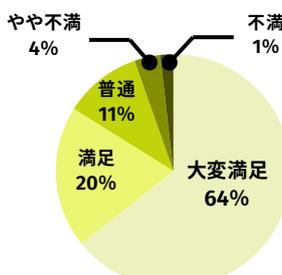


■ 印象に残ったこと ■

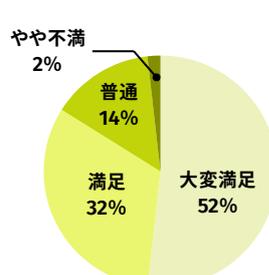
- ・大人が余裕を持って子供達と遊ぶ
- ・地域の人、先生、保護者の意見交換ができたのは面白かった
- ・金子先生のお話にも、とても興味関心を持ちました。我が子や関わる子ども達にとってより良い環境を生み出すために、子ども達と一緒に「遊び」を楽しむ大人であり続けたいと思いました。ありがとうございました。
- ・講演がとてもよかったです。面白いから学ぶ！そんな学校にしたいです。
- ・中学生の前向きな姿勢
- ・大人の部活動
- ・興味を持っている方が、これだけたくさんいて心強い

■ 教育委員会に伝えたいこと ■

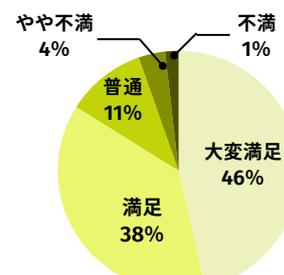
- ・過程を易しく定期的に説明していただくと、応援したり、意見したりにつながると思います。
- ・なかなか難しいとは思いますが公演やワークショップにもう少し時間にゆとりがあると嬉しかったです
- ・このような機会をいただきありがとうございました。ワークショップのように地域住民の方と話して、いろんな意見を聞くことができよかったです！このような風土が安平町全体に広がっていったらなと思います。
- ・学区の縛りを外すことも選択肢ということでしたが、そのためにはどんなハードルがあるのか、今後学んでいきたいと思いました。



講演の満足度



行政説明の満足度



ワークショップの満足度

これからのスケジュール（予定）

※内容や日程は変更となる場合があります。

いよいよ9月27日9：00～12:00、追分公民館にて「追分の学校を考える会」がスタートします。1回目と5回目、6回目は、土日の昼間に全員集合して実施します。2～4回目は、子育て世帯や働いている方を考慮して、1日2回開催します。2～4回目の開催時間に関しては第1回目に参加者で話し合っていきます。

「追分の学校を考える会」は、建物の話だけでなく、学校のあり方考える会です。ここでの話し合いが、来年の学校の学びのあり方にも関わってきます。学びにまつわる「子どもたちのためにこんな活動してみたい」「子どもたちにこんな機会を提供したい」「教育を通して、こんな追分をつくっていききたい」など、ちょっとでも心が動いた方は、参加してみませんか？一緒に未来の学校、未来の学び、未来の追分についてかんがえてみましょう！皆さんのご参加お待ちしております！

9 / 27 SAT ① 9:00-12:00 追分公民館 (会議室)	01 これからの教育って何 今、学校で大切にされている学びとは？ 新しい学習指導要領や地域とのつながりなど、「これからの教育」の基本的な考え方を考える時間です。未来の学校を考えるためのヒントがたくさん詰まっています。	12 / 18 THU ① 13:00- ② 18:00- 追分公民館 (会議室)	04 コンセプトを磨こう 前回出たアイデアや言葉をもとに、みんなで「伝わるカタチ」へと磨き上げていきます。目指すのは、子どもも大人もワクワクする未来の学校像です。
10 / 28 TUE ① 13:00- ② 18:00- 追分公民館 (会議室)	02 大切にしたい思いの共有 子どもたちにどんなふうに育てほしい？ 学校にどんな場所であってほしい？ 一人ひとりの願いや思いを言葉にして、参加者同士で共有します。共通する価値観を見つけながら、未来の学校づくりの土台をつくっていきます。	1 / 17 SAT ① 9:00-12:00 追分公民館 (会議室)	05 コンセプトを決めよう、伝える方法を考えよう 仕上がってきたコンセプトを見直し、最終案にまとめていきます。あわせて、住民説明会などでどう伝えるかもみんなで話し合います。
11 / 26 WED ① 13:00- ② 18:00- 追分公民館 (会議室)	03 ダイヤモンドとツリーでコンセプトを考えよう 「こんな学校だったらいいな！」という想いを形にするワークショップ。キーワードを自由に出し合い、学校の未来像を描いていきます。	2 / 8 SUN ① 9:00-12:00 追分公民館 (集会ホール)	06 コンセプト案発表会！ 考えたコンセプトを学校運営協議会、住民の皆様へ報告しよう。 【参加対象】 学校協議会委員、子育て世代、住民、町内教育関係者、移住検討者、在校生、卒業生、教職員

考える会の
参加はこちら！

- 参加条件：①安平町在住者、出身者、通勤者、安平町に関わりたい人
②全6回の考える会に積極的に参加できる人（やむを得ない欠席OK）
③コンセプトづくりから、活動まで参加したい意欲のある人

参加申込：右記のQRコードよりお申し込みください

場 所：安平町追分公民館（北海道勇払郡安平町追分緑ヶ丘200-2）

お問い合わせ



安平町教育委員会学校教育G

TEL：0145-29-7036

e-mail：gk-kyouiku@town.abira.lg.jp

